

水野広徳 75 回忌追悼法要

～墓マイラーと子規記念博物館学芸員による講演会～



「世にこびず、人におもねらず、
我はわが正しと思う道を歩まん」

松山市三津で生まれた言論人・水野広徳(1875～1945)は、明治 37 年に日本海軍軍人として日露戦争に従軍し、日本海海戦史「此一戦」を出版してベストセラー作家となりました。しかし、第一次世界大戦後の欧州の悲惨な戦況視察のあと、一転して非戦を主張するようになりました。大正 10 年、軍部の反感を買い退役を余儀なくされた後も、重なる発禁処分にもひるむことなく、言論人として率直、明快な態度で自分の考えや筆を曲げることはありませんでした。

殊にアメリカを仮想敵国とした軍部の新国防方針に反対し、日本がアメリカと戦えば、東京は一夜にして焼野原になるだろうと予見した先見性は、歴史が証明しています。また、豊富な軍事知識と近代戦争の実情を視察した経験を踏まえ、軍縮・非戦論、平和論を積極的に展開したその論理の明快さ、分析の鋭さ、思索の深さは、政治・軍事・外交・社会・思想史など近代史の様々な分野で大きな業績を残しています。

この反戦・反骨に生きた水野広徳の追悼法要を実施し、彼の生涯を顕彰してまいりたいと考えます。ご参集いただければ幸いです。

【日 時】 2019 年 10 月 20 日(日) 10:00～11:30

【場 所】 蓮福寺 (松山市柳井町 3-6-3)

【参加費】 無 料 (講演会定員 80 名/先着順)

《追悼法要》 10 時 00 分～10 時 20 分 (墓前)

《講 演 会》 10 時 30 分～11 時 30 分 (2F ホール)

「あの時水野は何を思い、感じたか」

～墓マイラーと学芸員が語る偉人たちの世界～

墓マイラー カジポン・マルコ・残月氏

松山市立子規記念博物館学芸員 平岡瑛二氏



カジポン・マルコ・残月氏



平岡瑛二学芸員

【カジポン・マルコ・残月氏】

大阪府出身、墓マイラー・文芸研究家
19 歳の時から、“感謝”の気持ちを伝えるため、
ゴッホ兄弟やドストエフスキーなど、100 か国・
2500 人以上の世界の偉人の墓巡礼を行っている

【平岡瑛二学芸員】

松山市出身、大阪大学大学院卒
2012 年に特別展「水野広徳－軍服を脱いだ平
和主義者－」を企画、子規記念博物館所蔵の
資料を中心に、水野広徳について研究中

主催・発起人

蓮 福 寺・住 職

山岡 宏

NPO法人アイムまつやま・理事長

菅 紀子

南海放送株式会社・顧問

河田 正道